



6月議会特集
NO.2258
2021.8.1

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313



無料生活相談所

関徹
長者町11-26
24-2414
加藤 鉦一
宝徳仲田56
64-3941
菅井 巖
中楯 9 6
33-0534
坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993
山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548
長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

研修生を励まし、応援すべき

6月議会 新政クがSEADSの問題を「政争の具」に



日本共産党鶴岡市議団：左から、長谷川剛議員・加藤鉦一議員・坂本昌栄議員・山田守議員・菅井巖議員

鶴岡市議会6月定例会は、「鶴岡市立農業経営者育成学校 SEADS」の農業人材プロモーション予算を賛成19、反対9で可決しました(2面一覽表)。

新政クラブは「3期生の募集を停止すべき」と反対し、1期生13人中8人が途中で退校したことから、SEADSの問題を「政争の具」にしている感は否めません。

長谷川剛議員は賛成討論で、「議会としても、人生をかけて鶴岡

に來た研修生を励まし、当初の目的を達成できるように応援することが必要だ」と述べました。

関連の附帯決議は、随意契約を一般競争入

請願4件、自公会派の反対で不採択

請願4件は自公会派の反対で不採択、1件は採択されました。

菅政権いいなりに、誰が市民の願いに背いているかが鮮明です。

遺骨の残る沖繩本島南部からの土砂採取の

札にすべきというもので、新政クラブの4人が退席し、賛成13、反対11で可決しました。

加藤鉦一議員は反対討論で、「移住・就農後に撤退する事例が全国的にも多く、目的に合致した内容で実行されるのが重要だ。入札の問題ではない」と述べました。

中止を国に求める請願は、坂本昌栄議員が賛成討論で、「人道上の問題であり、埋め立てが決まっただけでは遅い」と述べました。

保険薬局も無料低額診療事業の対象とする

ことを国に求める請願と、市に対して保険薬局での薬代の助成を求める請願は、山田守議員が賛成討論で、「誰もが困った時に利用ができる無料低額診療の拡充が必要」と述べました。

政府に対して、米の過剰在庫を緊急に買い入れ、米価下落に歯止めをかける請願は、菅井巖議員が賛成討論で、「買い上げた米をコロナ禍で食事に事欠く困窮者への支援に回し、MA米は即刻止めよう政府に求めるべきだ」と述べました。

市に「地域密着型医療連携推進法人」創設の検討を求める請願は全員賛成で採択。

3月議会に提出された「中小企業振興条例」は再び継続審査に付され、自公会派が可決に抵抗しています。

2021年6月議会 賛否が分かれた議案 (○賛成 ●反対)

	共産党					無		市民クラブ			公明		新政クラブ										本間新兵衛議長						
	長谷川剛	坂本昌栄	山田守	菅井巖	加藤鉦一	草島進一	中沢洋	田中宏	石井清則	加賀山茂	小野由夫	秋葉雄	富樫正毅	黒井浩之	五十嵐一彦	菅原一浩	尾形昌彦	佐藤昌哉	本間正芳	阿部寛	石塚慶	小野寺佳克		本間信一	野村廣登	齋藤久	洪谷耕一	佐藤文一	佐藤博幸
農業経営者育成学校SEADSの農業人材プロモーション予算(補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同上補正予算に関する附帯決議	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないよう国に求める請願	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保険薬局も無料低額診療事業の対象とすることを国に求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無料低額診療の保険薬局での窓口負担の助成を鶴岡市に求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落対策を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴岡市中小企業振興条例の2度目の継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

日本共産党市議団
6月議会の議会質問



山田 守議員

総括質問 農業経営者育成学校シースでは、私たちは農業公社を提案してきたが。

市長 新規就農への各種支援の一元管理など、きめ細かな対応ができるが、一方で設立や運用に相当な費用と労力時間かかる。一般質問 県の0.2歳児の保育料軽減策への対応はどうか。健康福祉部長 県の情報を注視し、軽減に向け検討していきたい。



加藤 鉦一議員

一般質問 パワハラ防止法改正が1年経過



坂本昌栄議員

一般質問 学校給食無償化の検討状況は。

市長 次は第2子以降に取り組むが、財源確保が必要だ。一般質問 学校トイレに生理用品を常設すべきだ。教育長 保健室での対応を想定している。



長谷川剛議員

一般質問 本市の就学援助認定率は8%で、制度の周知の徹底は。

し、パワハラのない明るい職場づくりは。市長 あいさつを徹底し、職員と率直に意見が交わされる職場づくりに取り組んでいく

教育部長 スマホでの情報提供や直接面談で周知を検討する。問 18歳までの医療費無料化は県内24市町村に広がっているが。健康福祉部長 財源は厳しい。他の施策との比較を含め検討する。



菅井 巖議員

一般質問 温海地域の自主除雪の取り組みを全市でできないか。建設部長 大型除雪車が入れない道路除雪に、1㎡当たり30円で委託料を支出。全市で運用可能か検討する。